

●お年寄りに学ぶ●

「学び」は「学ぶ力」

静岡大学助教授

馬居政幸

「私の祖母は現在八十八歳。私が生まれ育った四国の鳴門にある家で、一人で生活している。もっとも昨年までは、実の娘である私の母と一緒にあった。父が早世し、女手一つで育てた一人息子の私が二十九歳でやっと静岡大学に就職したのが昭和五十四年。そのあとの母の心配は祖母のことであった。跡取りの嫁とうまくいかず、ほとんど母の嫁ぎ先、すなわち私の家にきて一緒に生活していたからである。それが、昨年の七月、母が先に亡くなってしまったのである。長男である叔父をはじめ周りの者は祖母がどうなるか非常に心配した。ところが、祖母は娘の建てた家だから母親の私を守るというって、一人での生活を始めてしまった。米寿を迎える祖母の言葉に

逆らえる者はいなかった。結局、親戚中で気をつけることを約束して、祖母の好きなようにさせることにした。そして半年後の正月、私は家族をつれて田舎に帰った。祖母が元気であることを祈りながら。ところが、八十八歳の祖母はむしろ以前よりも元気な笑顔で私の四人の子どもたちを迎えてくれた。私や妻の心配をよそに曾孫を相手にあっちへいったり、こっちへいったり。

「オカアがいなくなったらバアアがかわりをしてやらなかわいそうじゃ。」

これが祖母の最近の口癖である。”

冒頭から私事の話で申しわけありません。実は、

『母と生活』編集部のかたから電話にて「お年寄りに学ぶ」というテーマでの原稿を書くことを依頼された時に、ふと浮かんだのが祖母の姿だったからです。そしてそれが非常に不思議な感じがしたからです。

もちろん、祖母は年寄りですし、その祖母に私が学ぶことは今回のテーマにとってなんら不思議なことではありません。しかし、私はこれまで祖母を学ぶ対象として見つめたことはなかったのです。

子どもの時の私にとっては祖母が母親でした。母が父に代わって働いていたためです。父親となった私には、子どもたちの「大きいバアちゃん」としていつまで元気でもらえるか、という心配と保護の対象。育ててくれたことへの思いはあっても、教えてくれたことへの感謝の気持ちを感じたことはありませんでした。

考えてみればおかしいことなのですが、案外身近にいる人に対してはそのようなものではないでしょうか。まして、祖母は明治生まれの人。漢字を「ほんじ」といい、カタカナしか書けません。また、嫁が気に入らないという自分のわがままから、婿が人の好いのをいいことに、娘の嫁ぎ先に無理やり押し

かけてきた人です。孫の私にとってはやさしい「バアちゃん」でしたが、父や母あるいは叔父や叔母とはいろいろあったことを子ども心に覚えています。祖母もそのへんは心得ていて、私を可愛がることはあっても何かを教えるという態度をとったことはありませんでした。尋常四年で奉公に出された明治生まれの娘にとって、人に学ぶことはあっても、人を教えるなど考えたこともないと思います。

ところが、先に述べましたように、この原稿依頼を聞きながら、「お年寄りに学ぶ」ってことは具体的にどういうことだろうと、何となく思った時にふと浮かんだのが祖母の姿でした。そこでその不思議さの原因にこだわることから、この原稿を書いてみようと思いました。その結果、見えてきたのが「学ぶ」ということへの私なりの考えでした。

最近、生涯学習という言葉をよく聞きます。その際、学校を出た後も勉強しなければならないのかな、と感じた人もいます。ではないでしょうか。少なくとも私は、学生時代に初めてこの言葉を聞いた時にはそのように考えました。そのためあまりいいイメージを持ちませんでした。しかし、静岡に住み様々な人と出会う機会を重ねるにつれ、だんだん考

えが変わってきました。

“教える人がいて学ぶ人がある。教えることがあって学ぶことがある。その代表が学校の中での教師と生徒との関係である。”

これが学習に対する常識的な考えだと思います。しかし、生涯学習の学習はどうも違うのではないかとと思うようになったのです。そしてそのような思いに中身を与えてくれたのが次の言葉でした。

「後は赤ん坊が教えてくれるよ、一人や二人じゃ子どもを育てたとはいえないよ。」

これは、県の婦人課が主催する通信講座の受講生のかたが、講師である私当てに出してくれたレポートの一節。初産の世話にいられたお母さんが帰る際に娘に言い残した言葉です。その意味は、子育ての方法は、育児書的な知識ではなく、目の前の子どもの表情、しぐさ、なきごえなどからおのずと学びとるものです、ということだと思います。子どもを産んだから母親ではなく、子どもと共に育ち、さらになによりも子どもに学ぶことから母親になるという意味であると思います。

私たちは幼稚園に始まり高校や大学まで、多分、

人の娘に先立たれる。しかし、その都度新たな生きる意味を学びとり、今再び娘の死を自分の命の源としてその代役に生きる祖母の姿。”

このような祖母の生き方は、祖母のみの特性ではなく、今日の日本のお年寄り全てに当てはまることではないでしょうか。明治、大正、昭和、平成と未曾有の変動を生き抜いて来られた人たち。私はその人生の全てが、さらにその人生を刻んだ現在の生活がそのまま、豊かな社会を当たり前のものとしてしか捉えられない私たちにとって、汲めども尽きぬ「学び」の世界であると思います。

「お年寄りに学ぶ」というと、経験に裏づけられた知恵や技術をお年寄りに教わることを考えがちだと

これまでの日本人の歴史の中で最も多くの教師に教わっている人間だと思います。おまけに生涯学習の時代といわれ、カルチャーセンターが大流行です。公民館でも様々な学級や講座が開催されています。その意義を否定するわけではありませんが、どうも私たちは教わることになってしまい、学びとる知恵や方法を見失っているのではないのでしょうか。そのことに気づかせてくれたのが「赤ん坊が教えてくれるよ」という言葉だったわけです。

そして、このような意味での「学ぶ」ことの大切さを身をもって教え続けてくれているのが、祖母の姿であることに気づいたわけです。教えることを生業とし教わることに慣れ親しんだ私自身が、祖母の姿から「学び」の復権の意義を感じざるをえなかったことへのとまどいが、「不思議さ」として現れたのだろうとおもいます。

“祖母が通った学校は尋常小学校四年のみ。それでも十九で一緒になった夫と米屋を興しかなりの財を蓄える。その夫が三十一で亡くなるが、娘と息子二人ずつを再婚せずに育てる。だが、戦争により娘の一人は病死、息子の一人は戦死。そして今、もう一

人います。それは大事なことです、私たちがお年寄りから学ぶ上で最も大事なものは、その生きている姿自体から学び取ることでできる力を、私たち自身がどれほどもっているか、であると思います。

その意味で、この本を読まれているかたに提案します。御自身のお父さんやお母さん、あるいは地域のお年寄りに改めて語りかけてみてください。次いで、その会話の中から何を学び得たかを自分に問い掛けてください。また、学ぶものがなかったなら、問いかけた自分自身の「学ぶ力」の弱さを感じとる「心」があるかどうかを確かめてください。そして、その「心」こそ「学び」の源泉であることを私が祖母から学んだ最も大事なことであることを最後に述べて終わりたいと思います。



仕出し料理は

旬の味を

大切に作る

老舗……………

東海軒

静岡駅前
東海軒

☎(0542)53-5171

静岡駅南口
東海軒会館

☎(0542)86-5101



特集 お年寄りに学ぶ

表紙 絵

わんぱくギャラリー

ルボ・ふるさとマップ④

親と子の手作りのおもちゃ

特別寄稿

SPOT 2011.89

子どもの世界②

村上 豊

『なわとびで遊んだよ』

竹林清水の世界／柿田川・竹類植物園／

パタパタ&まほうの手帳

鬼さんへの公開質問状

校内盗難と国際化

ぼくのおじいさん 私のおばあさん

●「学ぶこと」と「学ぶ力」

●家族つて？

●お年寄りから学ぶこと 教えられること

●同居の工夫 わが家の場合

親と子の風景⑤

ある暑い夜の明け方に

私の少年時代

朝、なかなか起きてこない

選択教科

まるやまちなみ

編集 部 3 1

芹沢義泰 8

堀内純子 12

徳岡孝夫 15

吉岡たすく 18

馬居政幸 22

劇団「ほのお」 26

36

39

野本三吉 42

朝霧 章 46

伊東西小・村上源一 48

平野近子 50

角替弘志 57

■賀茂・河津南小 土屋豊子…このガム

■駿東・御殿場中 勝又将雄…Y先生の絶句

■榛原・川崎小 浅井きみ江…小さな詩人たち

■浜松・鴨江小 竹山賢昭…二つの思い出

■引佐・平山小 鈴木彦普…手伝い

琉球蘭復活大作戦

紙に命を 鈴木ます

〈文学〉新田次郎と富士山文学

〈山頂〉石文字

「サッカーの種をまく」 錦織兵三郎

〈生活〉暮らしに役立つ食品添加物

〈調味料〉酢の働き

〈収納〉食器だなの整理学

〈言葉〉馬を追う虫

三ヶ日東小学校 58

編集 部 60

和久田雅之 64

芹沢早苗 66

ダイモン・次郎 76

山家智嘉 82

青野陽子 84

深谷ミエ 86

久島 茂 88

法月理栄 91



●ことわざクイズ 右の絵を見て、あ
なたはどのことわざを当ててみたかな。正解者
の中から20名の方を、千田の図書券
をさしあげます。×切は9月22日迄。
あて先▼〒420静岡市駿府町1の12
静岡県出版文化会「母と生活」クイズ係

おしとくしんぐ

伝言板

木の実

90 68

本文カット：森下正夫9 てるしまやすひろ18 黒田とみじ21 八木洋行41

村松忠男15・46・75 滝井トリス65 宮西達也73 村松麗子68・90